



諸橋轍次の愛した
漢詩の世界へようこそ



漢字文化を次代へ

諸橋轍次博士生誕140周年記念
第15回 諸橋轍次博士記念漢詩大会
募集要項

応募締め切り

令和5年7月31日(月)

漢詩大会

記念講演会

令和5年11月11日(土)午後2時～3時30分

表彰式・流觴曲水等

令和5年11月12日(日)午前10時～午後1時

会場

諸橋轍次記念館

諸橋轍次博士生誕140周年記念 第15回 諸橋轍次博士記念漢詩大会 募集要項

明治16(1883)年に下田村庭月(現在の三条市庭月)に生まれた諸橋轍次は、漢学研究に情熱を傾け、昭和57(1982)年に数え年100歳で亡くなるまで漢字文化の伝統を研究しました。また同時に伝統を単に古いものとして示すのではなく、『大漢和辞典』をはじめとする多くの著書をつづいて、現代社会に役立つものとして意義を示しました。

諸橋轍次博士生誕140周年にあたり、諸橋轍次の生誕地を中心に漢学の里を整備する三条市諸橋轍次記念館では、その志を継承すべく下記募集要項により全国の皆様から漢詩を募集いたします。

1:応募区分

「一般の部」、「学生の部」、「生誕記念の部」の3部門を設けます。

2:応募条件

- (1) 詩体は七言絶句のみとします。
- (2) 題は自由題とします。ただし、「生誕記念の部」に応募する場合は、諸橋轍次博士の生涯、業績、故郷など生誕記念に関する詩とします。
- (3) 書き下し文(ふりがな付き)を併記してください。
- (4) 「一般の部」「学生の部」は、一人2首まで応募できます。「生誕記念の部」は、一人1首の応募とします。(合計一人3首まで応募が可能です。)
- (5) 未発表の作品に限り応募できます。
- (6) 第14回諸橋轍次博士記念漢詩大会において最優秀賞、優秀賞を受賞された方は、今大会は「招待詩家」として1首ご応募願います。
- (7) 今年は日中友好条約締結45周年にもあたり、今大会に限り、国外中国詩家は「生誕記念の部」に友好作品として応募することができます。応募は、中国駐新潟総領事館を通じて行われます。

3:応募方法

郵送・インターネットのいずれかの方法でご応募ください。



○郵送

募集要項に添付した応募用紙を用いてください。

* 応募用紙は第15回諸橋轍次博士記念漢詩大会ホームページからダウンロードできます。

宛先 〒955-0131 新潟県三条市庭月434-1 諸橋轍次記念館 漢詩大会係

○インターネット

下記の手順で投稿してください。

- 1 morotetsu34@yahoo.co.jp に空メールを送信してください。
- 2 上記アドレスからの自動返信メールに記載された投稿フォームにアクセスしてください。
- 3 投稿フォームに必要な事項を入力して完了ボタンをクリックしてください。
* 投稿フォームはパソコン、スマートフォンに対応しています。
* morotetsu34@yahoo.co.jp は投稿専用メールアドレスです。

4:応募料

一般の部	1首1,000円
学生の部	無料
生誕記念の部	無料
招待詩家	無料

応募料のお支払いは、郵便払込取扱票による方法のみの受付となりますのでご注意ください。

郵便振替口座、加入者名は下記のとおりです。

郵便払込取扱票
郵便振替口座 00530—2—103665
加入者名 諸橋轍次記念館

5:応募受付期間

令和5年5月1日(月)～7月31日(月)

郵送の場合は締め切りの7月31日当日消印まで有効。



6:入賞(予定)

「一般の部」、「学生の部」とともに、作品審査に応じて、次の賞を予定しています。
最優秀賞（諸橋轍次賞、中華人民共和国駐新潟総領事賞、新潟県知事賞、三条市長賞、新潟県教育委員会教育長賞）、優秀賞、秀作、佳作、奨励賞、特別賞（大修館書店賞）、なお、「生誕記念の部」においても、最優秀賞・優秀賞・佳作などを予定しています。

*入賞者には記念品・大会誌（全入賞作品などを収録）を贈呈します。

*応募者には大会誌を贈呈いたします。

7:審査員

審査員長 大地武雄 二松學舎大学名誉教授

審査員 鷲野正明 前国士舘大学教授

審査員 後藤淳一 法政大学講師

8:審査

審査選考は審査員の責任と権限において合議で行い、入賞作品を決めます。
審査についての問い合わせおよび異議は受理いたしません。

9:発表

令和5年10月上旬（漢詩大会特設ホームページで発表予定）入賞者には個人宛に通知します。

10:大会日程(予定)

記念講演会 令和5年11月11日(土) 午後2時～3時30分

漢詩愛好者の集い 令和5年11月11日(土) 午後6時～8時

(懇親会) *会場 嵐溪荘 参加費7,000円

表彰式・流觴曲水等 令和5年11月12日(日) 午前10時～午後1時
(雨天中止)

11:返却

応募作品は返却しません。投稿作品の控えはご自身でコピーしてください。

12:著作権と出版権

作品の著作権は著作者本人に帰属します。ただし諸橋轍次記念館の出版物(販売するものを含む)・ホームページなどに無償で活用させていただきます。当館刊行物以外の出版物へ転載する場合は著作者の同意を前提とします。

13:個人情報

応募者から提供された個人情報は今後の諸橋轍次博士記念漢詩大会の公募告知および諸橋轍次記念館の各種事業の告知に利用することがあります。
入賞者については、応募票に記載された氏名、雅号、都道府県・市町村名を大会誌に記載するほか、報道機関・関係機関に提供する場合があります。

14:その他

- (1) 無料送迎バスの運行（上越新幹線「燕三条駅」および信越本線「東三条駅」から諸橋轍次記念館までの間）を予定しています。
- (2) 大会日程、内容等につきましては、自然災害、感染症対策など社会事情により中止・変更することがあります。

15:作品送付・問い合わせ

諸橋轍次記念館 漢詩大会係

住所 〒955-0131 新潟県三条市庭月434-1 TEL・FAX 0256-47-2208

E-mail kangaku@city.sanjo.niigata.jp

諸橋轍次博士記念漢詩大会特設ホームページ

<https://www.kangaku-morohashi.com/course/諸橋轍次博士記念漢詩大会/>

*上記サイトより募集要項・応募用紙をダウンロードできます。

生誕記念講演

- ・日時 令和5年11月11日(土)午後2時～3時30分
- ・会場 諸橋轍次記念館 (入場無料)
- ・講師 国士館大学教授 藤田 梨那 先生
中国天津生まれ。日本留学し、二松学舎大学で日本文学を専攻。
日本近代文学、比較文学を専攻。文学博士。
日本郭沫若研究会(副会長)、国際郭沫若学会(会長)
『詩人郭沫若と日本』(武蔵野書院)
『漱石と魯迅の比較文学研究』(新典社)など著書多数
- ・演題 祖父郭沫若と日本



諸橋轍次記念館



流觴曲水

主催・後援・事務局

- (1) 主催 諸橋轍次記念館
- (2) 後援 中華人民共和国駐新潟総領事館、新潟県、新潟県教育委員会、(株)大修館書店、二松学舎大学、読売新聞新潟支局、朝日新聞新潟総局、毎日新聞新潟支局、日本経済新聞社新潟支局、産経新聞社新潟支局、新潟日報社、三條新聞社、NHK新潟放送局、BSN新潟放送、NST新潟総合テレビ、TeNYテレビ新潟、UX新潟テレビ21、NCT
- (3) 運営事務局 諸橋轍次記念館漢詩大会係
(お問い合わせ先)
〒955-0131 新潟県三条市庭月434-1
TEL・FAX 0256-47-2208
E-mail kangaku@city.sanjo.niigata.jp



- 北陸自動車道 三条燕インターから 車で50分
- 上越新幹線 燕三条駅から 車で50分
- 信越線・弥彦線 東三条駅から 車で35分
- 越後交通/バス 東三条駅前から 40分
(八木ヶ鼻温泉行き、諸橋轍次記念館前下車)

